

令和6年第3回加須市教育委員会臨時会会議録		
招集の日時	令和6年7月12日 午後5時15分	
招集の場所	教育委員会室	
開会の日時	令和6年7月12日 午後5時25分	
閉会の日時	令和6年7月12日 午後7時00分	
出席者の氏名	小野田誠教育長、遠藤康江教育長職務代理者、猪股富美子委員、秋山哲也委員、松永修委員、片山上総委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	齊藤千恵美生涯学習部長、中島高広学校教育部長、野本朋子こども局長兼学校教育部理事、高貫貢生涯学習部副部長兼教育総務課長、高橋一也学校教育課長兼指導主事、秋山天学校教育課主幹兼指導主事、澁谷裕貴学校教育課主幹兼指導主事、杉田勝学校教育課教育専門員兼教育総務課教育専門員、風間康宏教育総務課主幹、岡田正道教育総務課主幹	
会期日程	第 1 第 2 第 3 第 4	会議時間の決定 会議録署名委員の指名 協議事項 加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針策定のための基本的な考え方（案） その他
発言者	会議の概要	
小野田教育長	臨時会の開会に先立ちまして、ご報告を申し上げます。 先月、6月に開催されました令和6年第2回加須市議会定例会の最終日におきまして、秋山哲也委員さんの教育委員の任命について議決をいただきました。 これを受けまして、7月1日に、市長から秋山委員さんに教育委員の任命辞令の交付がなされたところでございます。 秋山委員さんにおかれましては、教育委員2期目として令和6年7月7日から令和10年7月6日までの4年間、教育委員として、加須市の教育行政にご尽力を賜りたいと存じます。 それでは、秋山委員さんから、ご挨拶をいただきたいと思います。	
秋山委員	1期目始まったときはコロナの1年目で、2年間ぐらいは学校のいろいろな行事が全部中止になってしまい、ほとんど見る機会もありませんでした。そのあとの2年間で、少しずつ学校や文化施設も見られるようになってきました。2期目は、より深く加須市のことについても勉強させていただければと思っております。 ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。	
小野田教育長	ただいまから、令和6年第3回加須市教育委員会臨時会を開会します。 本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。	

	本日、事務局側の出席は、関係職員のみ、としておりますのでご了承ください。 本日は、傍聴希望者はございません。 【日程第1 会議時間の決定】 日程第1 会議時間の決定についてでございますが、午後7時まで、または、本日の日程がすべて終了するまでとすることによってよろしいでしょうか。 (異議なしとの声あり) それでは、会議時間は、午後7時までといたします。
小野田教育長	【日程第2 会議録署名委員の指名】 日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は秋山委員にお願いいたします。
秋山委員	はい。
小野田教育長	【日程第3 協議事項「加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針策定のための基本的な考え方（案）」】 協議事項「加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針策定のための基本的な考え方（案）」を協議します。 協議を開始する前に協議資料の1ページをご覧ください。 令和6年7月1日付で加須市長から加須市教育委員会への「加須市立小中学校の適正規模・適正配置の検討について」の依頼文となります。 こちらは、教育長あてに学校の設置者である市長から正式に、小中学校の適正規模・適正配置の検討を教育委員会で行うこと、及び、検討結果を報告するよう求められた依頼文でございます。 今後、手順を踏みながら、教育委員会としての案を、議決していただき、最終的には設置者に報告いたします。その報告をもとに、様々なプロセスを経て、市長の権限である予算の編成権に基づき、予算がついて具現化していくという流れとなります。 したがって、本日はこの協議の第1回目ということで、私を含め、教育委員の皆様で、話し合いをしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。 それでは、まず、事務局より説明させます。
斉藤生涯学習部長	・加須市立小中学校の適正規模・適正配置の判断について説明
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	・加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針策定のための基本的な考え方（案）について説明
小野田教育長	以上説明がありました。これより協議を行います。 ご質疑、ご意見等ございますか。

松永委員	基本方針とは一体どのようなものになるのでしょうか。基本方針の基本的な考え方をここで協議するので、この基本方針がどのようなものになるのか説明いただけますか。 また、審議会への諮問は、どの段階で行うものと考えているのでしょうか。
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	本日協議いただく基本的な考え方をもとに、基本方針を作ってまいります。基本方針では、加須市の考える望ましい学校規模を定めるとともに、学校規模の適正化と適正配置の検討を始める基準を示すことを予定しています。 また、審議会への諮問は、「基本方針」策定後、「基本計画」を策定する間に審議会への諮問を考えています。審議会への諮問内容としては、基本方針で定めた基準に基づき、市全体の学校をどのように配置し、どのように再編するかなどを考えています。基本方針を策定した後に審議会を立ち上げ、教育委員会から審議会に諮問し、審議会から教育委員会に対して答申を受ける形となります。
猪股委員	審議会の関わり方についての説明がありましたが、審議会の委員の中に地域の人だけではなく、スーパーバイズできる学識経験者は含まれるのでしょうか。
斉藤生涯学習部長	現在、適正規模・適正配置に係る審議会はありませんので、条例として市長が議会に提案することとなります。議会へ上程する前には教育委員会での議決が必要となりますので、教育委員会でも協議いたします。 プロジェクトチームでは他市の審議会の調査をしており、学識経験者が必要だとか、保護者代表が必要だとか、学校長が必要ではないかということを検討しております。
猪股委員	適正規模・適正配置は、急いでやるべきものではなく丁寧にするべきものだと思いますが、おおよそのスケジュール感は、事前に共有できた方がいいと思います。 全国的にも保護者や地域住民との合意形成を図ることをきちんとやらなかったためにいろいろな批判が出ていますので、保護者や地域住民の意見をどのように意思決定に生かすのかという部分が見える形の方がいいと感じています。
斉藤生涯学習部長	基本方針から基本計画を作成する順番となります。これは行政でも一般的なプロセスですが、今回異なるのは基本方針を作成するために、まず基本的な考え方の案をご協議いただく機会を設けている点です。 この段階では教育委員会のプロジェクトチームが素案を作成し、皆様のご意見をいただきながらまとめていく予定です。基本方針や基本計画については、まず委員の皆様のご意見を踏まえて決定していきます。 その間に、案の段階で説明会を開催し、保護者や自治会、地域の方々にご説明する機会を設ける予定です。また、パブリックコメントも考えています。その後、再度委員の皆様にご協議いただき、最終的に決定していきます。 基本計画を作成していく過程では、加須市全庁的な関係部署を含めた庁内プロジェクトチームを立ち上げる予定です。
猪股委員	庁内プロジェクトチームが連携しながらやることはわかりますが、基本方針が策定された後、庁内のプロジェクトチームが引き継いだ段階で、教育委員会のプロジェクトチームの役割が終わるのでしょうか。

斉藤生涯学習部長	庁内のプロジェクトチームに教育委員会のプロジェクトチームは入ります。教育委員会のプロジェクトチームのメンバーが、議題やどのような協議を必要とするかを決めていくものと考えています。
小野田教育長	それでは、これから、「加須市立小中学校の適正規模と適正配置に係る基本方針策定のための基本的な考え方（案）」の4本の柱について、柱ごとに協議を行います。 初めに、1本目の「こどもたちにとってよりよい教育環境の整備を最優先とする」についていかがでしょうか。
松永委員	解説に「健全で豊かな心を培う教育を推進する」という文言がありますが、加須市の教育理念にはこの言葉はありません。 加須市の教育大綱には「教育の目的を『人づくり』と捉え」「生きる力を醸成する」と示されています。端的に言えば、こどもたちの生きる力を育む教育を推進することが本市の目標です。これは単に心の教育だけではなく、広い視野での教育の推進を目指したものです。従って「生きる力を育む教育を推進する」がよいと考えます。 次に、「望ましい集団の中で活気に満ちた活動」という表現についてです。この表現は抽象的で、具体的なイメージが湧きにくいです。例えば、「望ましい規模の集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することにより、一人ひとりの資質能力を伸ばす」という文言にした方がより具体的となると思います。 「活気に満ちた活動」についても、具体的な説明が必要です。例えば、「多様な考えに触れる」「協力し合う」「切磋琢磨する」といった具体的な活動内容を示すことで、より理解しやすくなります。 このように、具体的な言葉を使い誰にでも分かりやすい文言を入れたほうがよい気がします。
猪股委員	「望ましい集団の中で」が誤解を生むと感じました。また、「よりよい教育環境」も漠然としていて、きちんと伝わるのか不安に感じました。
小野田教育長	この基本的な考え方をより細かくしたものが基本方針です。 用語解説に書いてあることを記載することも考え、最初は長文でしたが、もっと分かりやすい言葉で、なるべく専門用語を省いた方がいいという意見もありました。 今のご意見を反映されるかどうかは、また検討しますが、基本方針の中では、今のご意見を生かさなければならぬと思います。
猪股委員	1本目の柱が最初に来ていることはすごわかります。また、2番、3番、4番が、このような並びとなっているのも適切だと思います。 さらに、「よい」が、あえてひらがなにしたのはいいことだと思います。
秋山委員	「健全で豊かな心を培う教育を推進」はとても大事ですが、学校の教育として考えれば、知・徳・体を入れた方がよいと思います。
小野田教育長	次に、2本目の「全市的視野に立って、順次、学校規模の適正化と学校の適正配

	置を図る」についていかがでしょうか。
猪股委員	「全市的視野に立って」という言葉は、適正規模を考えるとコミュニティに影響のある再編もやむを得なくなるため、ある程度示唆するため必要だと思います。 「順次」は、不安に感じる文言だと思います。
松永委員	「順次」という言葉は、基準を示して、その基準に当たった場合に順次進めるという考え方ですが、計画で順番を決めて、その順番に従って進めるという意味にも捉えられると思います。 基準を示すことで、その後、順次やっていくという意味になると思いますので、次の基本方針の中にその基準を取り入れる必要があります。 混乱を避けるためにも、基準に従って整備を進める必要がありますので、この考え方は、分かりやすく妥当だと思います。
片山委員	「順次」という言葉が柱の中に出てきたことで、順番に総合されていくのかなと、捉えてしまいました。
松永委員	下の解説を読めばわかってもらえるとは思いますが、意味を説明しないとわからないものは柱にない方がよいのではないのでしょうか。
猪股委員	「順次」という言葉だけだと、その人によってとらえ方が様々ありますので、下の説明には残す必要はありますが、柱にはないほうがわかりやすいと思います。
小野田教育長	次に、3本目の「保護者や地域住民との十分な合意形成を図る」についていかがでしょうか。
遠藤教育長職務代理者	学校評議員との意見交換会で、小規模校は小規模校でいいところがあるから、残すという方法もあるのではないかと意見が出ていたと思います。 この考え方では、小規模校は残さないと言っているような気がするので、その辺の地域住民との合意形成を図ることを話し合わないといけないのではないのでしょうか。
小野田教育長	確かに学校評議員からのご意見として出ていました。しかし、概ねこのままではいけないのではないかという意見が多数であったと受けとめています。少数意見をどうするかは、これからであり、現在は再編計画を作るというスタートラインに立っていると考えています。
片山委員	まだスタートラインに立っている感がないため、そのことを発表したほうがよいと思います。
小野田教育長	次に、4本目の「小学校を優先して学校規模の適正化と学校の適正配置を図る」についていかがでしょうか。
松永委員	ただし書きの、「必要な場合には中学校も含めて検討を行います。」とは、どういう場合を想定しているのでしょうか。

小野田教育長	これは、義務教育学校にするとか小中一貫校にするとかの教育内容に関わったときには、中学校も関わりますということを意味しています。
小野田教育長	全体を通して何かございますか。
猪股委員	よりよい教育環境とは、こどもにとって最善の教育を提供することです。しかし、十人十色という言葉が示すように、世代や個人によって理想の教育像は異なります。そのため、「よりよい教育環境」という表現には多様な考え方があります。 例えば、特色ある学校づくりについてですが、地域密着型教育という観点も重要です。現在進めているコミュニティスクールの取り組みについては、この文書には具体的な記述がありません。おそらく、これが特色ある学校づくりや地域密着型教育に関わるものになると思います。 この再編がこどもの学びの向上や生活にどう影響するか、教育の質にどう寄与するか、不登校や特別支援の課題解決にどう繋がるのか、といった点については特に記述がありません。この再編によって教育の質が改善されるのか、その点が見えづらいように感じます。
斉藤生涯学習部長	ここには書ききれていないことが多数あると思っています。それを、基本方針や基本計画に細かに記載していきたいと考えています。
松永委員	2つ目の柱の解説の部分で、「これまでの行政区や通学区域に捉われない全市的視野に立った整備」は、通学区域が変わっても行政区が変わらないため、「行政区やこれまでの通学区域に捉われない全市的視野に立った整備」の方がいいと思います。 また、3つ目の柱の解説部分で、「地域密着型教育や、変化する地域の実態」は、「の実態」が「地域密着型教育」と「変化する地域」を受けたものならば「、」はいいと思います。そうでないとしたら「地域密着型教育の成果や変化する地域の実態」の方が納まりがよいと思います。
小野田教育長	それでは、次回までに、いただいた意見をどのような形で反映させるかを含めて、プロジェクトチームで検討してください。
小野田教育長	【日程第4 その他】 日程第4 「その他」でございます。 事務局から、何かありますか。
小野田教育長	委員さんから何かございますか。
小野田教育長	以上で、令和6年第3回臨時会の議事日程は、終了といたします。 また、令和6年第7回定例会は、7月22日（月）午後1時30分に開会しますので、よろしくお願いします。 これをもちまして、令和6年第3回加須市教育委員会臨時会を閉会といたします。

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和6年8月19日

教 育 長 小野田 誠

委 員 秋山 哲也

書 記 岡田 正道